

## 計画の策定にあたり

わたしたちの暮らす大磯町は、昔から幾世代にもわたって先人たちが守り育んできた、豊かな自然環境に恵まれ、長い歴史や文化、伝統のあるまちとして、着実に発展をとげてきました。



しかし、21世紀を迎え、高度情報化が進展する社会情勢の中で、急速に進む少子・高齢化社会に伴い、子育て、福祉、介護といった行政需要が高まっており、社会の急激な変化に柔軟に対応しつつ、町民の皆様方へ質の高い多様なサービスの提供が求められています。

そのため、最初の総合計画が策定された1968年（昭和43年度）からの目標である「紺碧の海に緑の映える住みよい大磯」を、まちづくりの将来像として継承し、より快適にさらに発展していくための長期にわたるまちづくりの指針として、15年後の2020年度（平成32年度）を目標年次とした、新たな総合計画を策定いたしました。

この計画の推進にあたりましては、基本理念である「自然とくらしとの共生」「手づくりと創造」にもとづき、町民の皆様とのパートナーシップのもと「協働」によるまちづくりに向けて、2006年度（平成18年度）から2010年度（平成22年度）までの5ヶ年間を計画期間とした、「第四次総合計画前期基本計画」の目標達成に向けた取り組みを進めてまいります。

おわりに、この計画の策定にあたりアンケート調査やワークショップなどにご協力いただき、貴重なご意見をいただきました町民の皆様、そして、熱心にご審議をいただきました総合計画審議会の委員の方々に対し、心から感謝申し上げます。

平成18年3月

大磯町長 三澤龍夫